推進する主な取組の実施状況について（令和７年度実績）

※判定記入要領

s…想定以上の十分な成果を得ている（実施回数、取組内容等において、予定以上の実績、成果となっている場合）

a…成果を得ている（実施回数、取組内容等において、想定、計画どおり実施できている場合）

b…一部進捗の遅れや課題があるが、概ね実施できている（実施回数、取組内容等において、一部に遅れや課題があるものの概ね予定どおり実施できている場合）

c…大きな進捗の遅れや大きな課題があり、抜本的な改革または取組の強化が必要（実施回数、取組内容等において、予定と乖離した実績となっているなど、大きな課題がある場合）

No	担当室課	大綱施策	事業名	取組内容	その他関連大綱施策	令和７年度実績（取組内容の具体的な内容等）	令和７年度実績（アンケート等での満足度）	※判定	取組内容に関する今後の課題・検討内容
1	中央図書館	Ⅰ-1(1)	文字情報の取得に配慮が必要な人への読書サービス	録音図書や点字図書、マルチメディアデイジーなどの貸出や対面朗読のサービスを実施。	Ⅲ-2	録音図書の貸出数2,112点 点字図書の貸出数100点 対面朗読サービス実施回数173回	―	a	資料展示や催しを開催し、多様な読書方法への興味や関心を抱くきっかけづくりに取り組む。
2	障がい福祉室	Ⅰ-1(1)	手話通訳	障がいのある人が社会参加しやすい環境づくりの一環で、手話通訳者の派遣や手話講習会を実施。	Ⅲ-2	文化を享受するためには健康や社会生活の維持が必要であり、それら必要不可欠な場面への手話通訳の派遣は概ね横ばいの824件だった。 手話講習会は、定数制限を解除して実施。174人が参加。（入門コース：100人、会話コース：73人）また、令和７年度から手話通訳者の養成のためのステップアップ講座を実施。20人が参加。	入門コース2講座、会話コース2講座、ステップアップ講座計5講座の受講者アンケートを実施。 「講座全体の満足度」の項目で5段階評価の5及び４の回答が5講座平均で89.7％	a	手話講習会については、今後の応募状況により定員数の拡大等を検討。
3	シティプロモーション推進室	Ⅰ-1（1）	エスコタウンイルミネーション	江坂ウエストサイドストリートにあるエスコタウンの約30本の木にイルミネーションを設置し、点灯式、クリスマス、年末、お正月のエスコタウン・江坂のまちを活気づける。同時に、ミュージック音楽屋通りと称したライブ演奏を適時併設し、来場者に楽しんでもらうイベントとして開催。	Ⅱ-3 Ⅲ-1 Ⅲ-3	大阪・光の饗宴と連携した事業を展開し、イルミネーションの設置のほか、キッチンカー、クリスマスツリーの設置、フォトコンテストを実施し、まちのにぎわいを創出。 114,888人の見物があった。 シティプロモーション促進補助金を交付。	多くの方が来場し、毎年継続していることで「11月になれば、エスコタウンにイルミネーションがやってくる」という市民感情の醸成に繋がっている。	a	より魅力的な開催手法の検討が必要。
4	高齢福祉室	Ⅰ-1(1)(2)	いきがい教室	高齢者の生きがいを高め、仲間づくりを目的として、初歩的な趣味の教室を開催。	Ⅲ-1 Ⅲ-2	市内在住の60歳以上の方を対象に19種類の趣味教室を開催し、仲間づくりの輪を広げた。（延べ受講者数：5,986人）	いきがい教室を受講したことによる「生きがいの充実度」についての満足度は89%。 いきがい教室全体としての満足度は92%。 ※満足度（満足+やや満足）	a	毎年多数のお申し込みをいただいているため今後も継続していく。 一方で、教室ごとに申込数の差が見られることから、市民ニーズも踏まえた多様な講座を実施する必要がある。また、講師確保が課題となってきているため、講師人材の発掘についても検討していく必要がある。
5	総合福祉会館	Ⅰ-1 (1)(2)(3)	障がい者に対する各種教室	障がい者の自立と社会参加の促進や生きがいを高めることを目的として、陶芸、七宝焼、料理、体操、音楽などの教室を開催。	Ⅲ-1 Ⅲ-2	陶芸教室（96回）728人 七宝焼教室（21回）176人 ストレッチ教室（22回）131人 料理教室（4回）24人 リフレッシュ体操教室（5回）12人 歌う仲間教室（3回）13人	参加者からは概ね参加してよかった、楽しかったので次回も参加したいなどの声が多く、十分な成果は得られている。	b	対象者のニーズ把握や他市事例の研究を通じ、実施形態の改善等による内容の充実に努めていく。
6	まなびの支援課	Ⅰ-1 (1)(2)(3)	聴言障がい者教養講座 視覚障がい者活動講座	視覚障がいや聴覚言語障がいのある人を対象にダンスや生け花、吹田の歴史などの教養講座を開催。	Ⅲ-1 Ⅲ-2	視覚障がい者活動講座　0回　0人 聴覚障がい者教養講座　7回　128人	聴言障害者協会の都合により、前年度と比較して実施回数が減少した。	b	視覚障がい者活動講座は、以前から講師の高齢化が課題となっており、関係団体より事業の継続が困難との申し出があったため不実施。
7	文化スポーツ推進室	Ⅰ-1(1)(4)	多文化共生推進イベント等の支援	多文化理解を深め、多文化共生社会の実現を目指し、（公財）吹田市国際交流協会が行う「多文化まつり」等、様々なイベントを支援。外国に文化的ルーツを持つ人等に各種講座やイベントを実施。	Ⅲ-2	・（公財）吹田市国際交流協会が実施した多文化共生推進事業に対して補助金1,300,000円の支援を行った。 ・各種事業の広報に協力した。（多文化ぷらす：６回）	―	a	外国人市民の増加や多国籍化等の社会情勢に合った多文化共生推進事業がなされているかどうか精査しながら、支援を行う必要がある。
8	中央図書館	Ⅰ-1(2)	図書館資料の収集・保存・活用	教養、文化、調査研究等に役立つ図書、雑誌等をはじめ、地域の文化に関する情報も含めて幅広く収集し、貸出サービス等を実施。レファレンス・読書相談などの学習支援を実施。	Ⅰ-3	貸出総計　3,636,649点（電子書籍含む） レファレンス受付件数　11,192件	―	a	引き続き、市民のニーズに対応した多種多様な資料を収集、提供し、文化・芸術に係る自由な学びを支援する。
9	文化スポーツ推進室	Ⅰ-1(4)	国際都市交流	国外の友好交流都市のスリランカ・モラトワ市やオーストラリア・カンタベリバンクスタウン市との交流。	Ⅲ-2	近年、訪問等の人の移動を伴う交流についての実績はない。	―	c	人的交流にだけでなく、オンラインの活用など、時代に即した新たな形での交流を検討する。

No	担当室課	大綱施策	事業名	取組内容	その他関連大綱施策	令和７年度実績 （取組内容の具体的な内容等）	令和７年度実績 （アンケート等での満足度）	※ 判定	取組内容に関する今後の課題・検討内容
10	文化スポーツ推進室	Ⅰ-2 （1）	市民劇場 （鑑賞型事業）	様々なジャンルの芸術を低廉な価格で鑑賞する機会の提供。	Ⅱ-1	大阪フィルハーモニー交響楽団七夕コンサート、青春太鼓祭、メイシアター狂言会、朗読会、市民平和のつどい（童謡コンサート）、企業版ふるさと納税コンサートを実施。入場者計3,435人	―	a	実施した公演のアンケート等を分析し、市民ニーズを踏まえた多様な公演の実施と周知方法の充実を図ることにより、今後も鑑賞の機会の創出を行っていく。
11	シティプロモーション推進室	Ⅰ-2(1)(2)	すいたフェスタ	市民参加による市民相互の連携強化、未来を担う青少年の育成、市内商工業の発展、市への愛着と誇りの醸成を目的とし、多世代が楽しめる魅力的な企画を実施。	Ⅱ-2 Ⅲ-1 Ⅲ-2	令和７年9月20日（土）に4回目のすいたフェスタを万博記念公園で実施し、21,242人の参加があった。 キッズパークを新設した他、各企業のゆるキャラ大集合や、手話通訳者を派遣してもらうなど幅広い方に楽しんでもらえるような内容とした。	満足度は非常に高く、30・40代のファミリー層の来場が多くみられた。	b	9月下旬に開催したものの暑さは変わらなかったため開催日を検討。 ５周年となるためこれまで以上に魅力あふれるイベントとしていく必要があり、来場者数の増加のためできることを考える。
12	文化スポーツ推進室	Ⅰ-2(1)(3)	吹田市公募美術展覧会	日本画、洋画、彫塑・立体造形、工芸、書、写真、グラフィックデザインの各部門で、美術の鑑賞と創作発表の場とし て、吹田市公募美術展覧会を開催。	–	メイシアターの展示室、集会室、第２練習室、展示ロビーを会場に、令和７年度第69回公募吹田市美術展覧会を開催。 展示数279点、来場者数1,056人キャッシュレス決済の導入を行った。	―	a	公募数、特に若年層の参加者を増やすための方策を引き続き検討する。
13	文化スポーツ推進室	Ⅰ-2(1)(3)	市民文化祭	市民が様々なジャンルの文化・芸術活動の成果を発表する場として毎年開催。	Ⅱ-3、Ⅲ-2	【文化団体協議会部門】観客数のべ13,920人 舞台部門では、演劇、バレエ、音楽、日舞など、9ジャンルの催しを実施。 展示部門では、盆栽、拓本、美術など、12ジャンルの展示を実施。 大会形式では、俳句、将棋、囲碁など、2部門を実施。 市民体験として、苔玉作り体験を実施。 【芸術芸能フェスティバル】参加者184人 公募により、舞台19組の市民が参加。 【文化で国際交流】参加者200人 舞台にてマジックや踊り、体験として着付け、お茶、お花、将棋等で国際交流を図る。	―	a	子どもを含む幅広い市民が体験や理解を深めることができる取組について引き続き検討する。
14	文化スポーツ推進室	Ⅰ-2(1)(5)	ミュージックストリートシリーズ	いずみの園公園など屋外を利用したアウトリーチ活動	Ⅰ-3 Ⅲ-3	屋外でのアウトリーチ活動として、いずみの園公園での大学生等による公演ライブを２回開催。（総観覧者315人） ①メイシアター公園ライブ　金管五重奏　150人 ②大学公園ライブ Suita Intercollege Festival　165人	―	a	屋外という特徴を活かして、今後さらに人が集まるイベントを実施していく。
15	文化スポーツ推進室	Ⅰ-2 (2)(4)(5)	吹田市文化会館（メイシアター）の活用	文化・芸術活動の拠点施設として、良質な文化・芸術の鑑賞や発表の機会と場を提供。文化・芸術に関わる企画制作や演出等の相談支援をはじめとした市民の文化・芸術活動に対する中間支援機能の充実を図る。	Ⅰ-3 Ⅱ-2 Ⅲ-1 Ⅲ-2	指定管理者において、鑑賞型事業・創造型事業・市民参加型事業・育成型事業・連携型事業・情報発信型事業等６つの事業構成の自主文化事業を実施し、地域の活性化・市民文化活動の拡充に努め個性豊かな地域文化の創造に貢献した。 入館者数　279,417人	―	b	今後も文化芸術の拠点施設として吹田市民文化祭や市民劇場等の市の文化事業の実施会場などに活用していく。
16	まなびの支援課	Ⅰ-2(3)	生涯学習吹田市民大学	市民の生涯学習活動を支援することを目的として、大学連携講座のほか、社会情勢や現代的課題について学ぶ特別講座を開催。	–	大学連携講座　13回　1,302人	講座のオンデマンド配信を希望する声があったため実施したが、視聴回数は少なかった。	b	ライブ配信においても、大学側の体制や設備の都合上、今後の実施が難しい状況となっている。
17	文化スポーツ推進室	Ⅰ-2(3)	国内都市交流	異なる文化や環境に触れ、自らの地域の魅力を再発見するため、友好交流都市の６市町村との間の市民相互の交流機会を提供。	Ⅲ-2	・ホームページで国内の友好交流都市を紹介するなど、インターネットを活用した取組を実施した。 ・友好交流都市のチラシを本庁舎内に配架し、各市町の周知を図った。 ・吹田産業フェアにおいて、友好交流都市５市による出店を行った。 ・妙高市の艸原祭及び香美町合併20周年記念式典に出席した。	―	a	人の移動を伴う交流だけでなく、インターネットやSNSの活用なども含め、都市交流の在り方を引き続き検討する。
18	シティプロモーション推進室	Ⅰ-2(3)	OsakaFlowerCarpet	大阪・関西万博に向け、大阪での万博開催の誇りと機運運醸成の向上を目的に万博記念公園で市民参加で大きな花絵を制作し展示するアートイベント実施。	Ⅰ-1 Ⅰ-3 Ⅲ-1 Ⅲ-2 Ⅲ-3	令和7年4月26日～28日、万博記念公園太陽の広場で実施。製作は市内大学生を含む市民等約150人が参加。期間中、万博記念公園を訪れた多くの方に見ていただいた。さらに、花絵に使用したチューリップを再生紙にアップサイクルした。	人気イベントであり、今後も続けてほしい等の意見が多かった。	b	大阪・関西万博が閉幕。レガシーとして今後展開されるよう支援等の検討が必要。

No	担当室課	大綱施策	事業名	取組内容	その他関連大綱施策	令和７年度実績（取組内容の具体的な内容等）	令和７年度実績（アンケート等での満足度）	※判定	取組内容に関する今後の課題・検討内容
19	文化財保護課	Ⅰ-２(4)	文化財の公開展示	地域の文化に関する歴史資料等の情報を展示することで市民の生涯学習活動を支援する。	Ⅱ-３	・博物館の常設展示室において、歴史資料と民俗資料等を公開している。 ・特別展等の企画展示を５回、学芸員のおすすめ展示を４回開催した。 ・利用者数22,307人（講座受講者等を含む）	来館者アンケートによると回答者の約９割が展示内容を「とても良かった」、「よかった」と評価していた。	a	常設展示のリニューアルを令和８～12年度予定の大規模改修に合わせて行うよう協議していく。
20	文化スポーツ推進室	Ⅰ-２(4)(5)	市民ギャラリーの運営	常設の市民ギャラリーにおいて、発表と鑑賞の機会を提供。	－	市庁舎ギャラリーでの展示　24件 南山田市民ギャラリーでの展示　31件 市庁舎ギャラリー「夢」の利用を再開し、障がい福祉室にも周知を依頼し、2件展示を行った。南山田市民ギャラリーの利用状況はほぼ横ばいである。	―	a	南山田市民ギャラリーについては、ワークショップ等、鑑賞だけでなく、市民が参画できるような目的での使用も促しながら、市民利用や自主事業、広報活動の促進を図っていく。
21	文化スポーツ推進室	Ⅰ-２(4)(5)	吹田歴史文化まちづくりセンター（浜屋敷）の貸室業務	日本家屋の特長をいかした文化・芸術活動の場と自発的な学びの機会を提供。	－	令和7年度の貸館利用者・見学者数は18,706人で、昨年度の17,494人から1,212人増加しており、古民家を利用した文化・芸術活動の場の提供を行った。	―	a	
22	各事業担当室課	Ⅰ-３(1)	市報すいたによる情報発信	市の事業や行事の紹介など、市民への周知事項をまとめた広報紙により文化情報を提供。	－	市の事業や行事の紹介など、市民への周知事項をまとめた広報紙により文化情報を提供。	講座参加者へのアンケートによると、市報で情報収集をしている割合は大きい。	b	引き続き市民の方にわかりやすい情報発信をおこなっていく。
23	文化財保護課	Ⅰ-３(1)(2)	バーチャルミュージアム	博物館に直接行かなくても、いつでもどこでも展示内容がわかるバーチャルミュージアムによる展示を提供。	Ⅰ-２	・春季特別展、秋季特別展の展示内容を紹介するページを公開した（２回）。 ・資料データベースへの登録件数は19,834件。	特別展紹介ページ閲覧者の約９割が「とても良かった」、「よかった」と評価していた。	a	ホームページのコンテンツを充実させていく。
24	各事業担当室課	Ⅰ-３(1)(2)	ホームページやSNS等による情報発信	市の事業や行事の紹介など、市民への周知事項をまとめた吹田市ホームページやSNS等により文化情報を提供。	－	市の事業や行事の紹介など、市民への周知事項をまとめた吹田市ホームページやSNS等により文化情報を提供。	講座参加者へのアンケートによると、セグメント配信での広報は効果的であった。	b	今後もイベントの周知については、市報とともにSNSなどで周知し、どんな世代の人でも情報をリーチできるようにしていく。
25	まなびの支援課	Ⅰ-３(1)(2)	生涯学習情報の提供	講座やイベント、施設、人材、活動団体など文化・芸術活動に役立つ情報をはじめとした様々な生涯学習情報を発信。	－	学習施設ガイド「ひろがれ」の発行 ホームページ内の「バーチャル吹田生涯学習センター（動画配信）」として、講座の動画配信を発信。	動画の視聴回数は伸び悩んでいる。	b	紙媒体からICTの活用等を含めた情報発信の充実を図る。
26	シティプロモーション推進室	Ⅰ-３(1)(2)	ハッシュタグキャンペーン	本市公式Instagramにおいて、吹田市の誇れるところに関する写真を募集。	Ⅰ-２ Ⅰ-３	令和５年度の関西大学のPBL型授業にて、市公式Instagramの運用課題を提示し、その解決を図るようなハッシュタグキャンペーンの内容を学生に考えてもらった。発表いただいた内容に基づき、市で内容を精査し、「＃誇れよ吹田　ハッシュタグキャンペーン」を令和６年１月から事業化したもの。令和7年度実績(１月～１２月)1130投稿。	当該キャンペーンの投稿に対して多数の閲覧や反応があり、市民が改めて吹田市に対する興味や関心を持つことにつながった。	b	より幅広く市民に参加してもらえるような取組の検討が必要。
27	広報課 シティプロモーション推進室	Ⅰ-３(1)(2)	吹ちゅーぶ	吹田市の取り組みや施設等を紹介する動画を制作し、定期的に発信することで、市の魅力を広く伝えるとともに、市政への理解を深めてもらうことを目的に実施。	Ⅰ-３	市に関連するイベントや事業を取り上げ、広報課制作25本、シティプロモーション推進室制作24本の計49本の動画を配信した。１本あたりの平均として、約1,500回再生された。	－	a	より多くの人が関心を持ち、視聴してもらえるテーマの検討が課題となっている。
28	文化スポーツ推進室	Ⅰ-１(1)	村居正之画伯の作品の展示	吹田市ゆかりの日本画家である村居画伯の作品を市庁舎や千里ニュータウンプラザ等の公共施設に展示。	Ⅰ-２ Ⅰ-３	吹田市役所内の市長室・特別会議室等、千里山・佐井寺図書館、千里ニュータウンプラザ、メイシアターに作品を展示中。吹田市総合防災センターにも新規で展示を開始した。 男女共同参画センターについては、改修工事に伴い、展示を終了した。	―	a	本庁舎内市長室等及び総合防災センターについても市庁舎ギャラリーとして位置付け、継続性を担保できるよう、事業としての整理を行った。 今後も作品の展示を継続的に行っていく。
29	文化スポーツ推進室ほか	Ⅰ-３(3)	公共施設のロビーや公共空間を利用した作品展示やコンサート	発表と鑑賞の機会の提供及びなにげなく文化に触れる鑑賞機会の提供を目的として、公共施設の共有空間、屋外の公共空間を活用した作品展示やコンサートを実施。	Ⅰ-２	８月に千里ニュータウンプラザロビーでにぎわいライブとしてコンサートを実施した。	―	a	にぎわいライブについては、民間事業も含め、なにげなく音楽ライブに触れる機会は一定確保されている現状を踏まえ、令和７年度で事業を廃止した。市庁舎ギャラリーについては利用したことがない方にも利用いただけるよう、様々な媒体で広報していく。
30	文化スポーツ推進室	Ⅰ-３(4)	出張コンサート等	プロの演奏家の出張演奏会、中学校へのブラスクリニックや若手音楽家の小学校への出張コンサート等、参加しやすい身近な場所に出向いての取組を実施。	Ⅱ-２	【中学校へのブラスクリニック】 2日間実施　参加人数49人 【若手音楽家による出張コンサート】 1回実施　参加人数54人 【能楽ワークショップ】 1回実施　参加人数90人 【演劇ワークショップ】 1回実施　参加人数78人	―	a	今後もプロの演奏家や若手音楽家による、参加しやすい身近な場所に出向いての取組を検討しながら事業を継続していく。

No	担当室課	大綱施策	事業名	取組内容	その他関連 大綱施策	令和７年度実績 （取組内容の具体的な内容等）	令和７年度実績 （アンケート等での満足度）	※ 判定	取組内容に関する今後の課題・検討内容
31	まなびの支援課	Ⅱ-１(1)	生涯学習人材バンク	学びたい人と教えたい人を結ぶかけはしとして、登録者名簿冊子「吹田市生涯学習人材バンク（ひとの宝箱）」を発行。	Ⅰ-３	「吹田市生涯学習人材バンク（ひとの宝箱）」を発行。	利活用状況の把握が難しい。	b	情報の更新を行っているが、より多くの市民に周知する方法を検討する。
32	文化スポーツ推進室	Ⅱ-１(1)(2)(4)	市民劇場 （育成型事業）	市内の大学との連携等により、市民が本格的な舞台公演に参加する機会を創出。	Ⅰ-２	【ファミリーミュージカルの実施】 千里金蘭大学との共同事業でオーディションで選ばれた小学３年生から60代までの一般市民30名と千里金蘭大学の学生4名、プロの表現者8人の総勢42人が出演。入場者1,027人 【吹田市民の第九】 関西フィルハーモニー交響楽団と公募した市民と市内中学校のコーラス部や合唱部が共演。入場者数951人 【青少年育成事業】 和太鼓ワークショップ　参加者105人 音楽影絵劇「100万回生きたねこ」　参加者428人 能楽ワークショップ　参加者90人 演劇ワークショップ　　参加者78人 小学校出張コンサート　参加者54人 【メイシアター開館40周年記念事業】 障がいのある市民12人と障がいのない20人がプロのダンサーと共演するダンス作品を上演。入場者数181人	―	a	「吹田市民の第九」は参加者にシニア層が多いことから、若年層の参加を促す方策についても今後検討していく。 「青少年育成事業」として、今後も小学校へのアウトリーチ活動などにより育成事業の充実を図る。
33	文化スポーツ推進室	Ⅱ-1(1)(3)(4)	SUITA×ART	次世代のアーティスト育成のためのアートスペースを文化の拠点であるメイシアターに設置し、活動と発表の場を創出することで若手育成事業を行っていく	Ⅰ-2 Ⅱ-2 Ⅲ-3	令和7年度のSUITA×ART（すいたあと）の出演者数は1,253人であった。周知が進んだこと及び、予約システムや予約区分を見直したことにより、利用率が向上している。	―	a	今後SNS等を用いてさらに周知をし、SUITA×ART（すいたあと）の利用率向上を目指す。
34	文化スポーツ推進室	Ⅱ-１(2)	吹田市文化功労者表彰	文化・芸術活動の普及や市民の文化振興への意識の高揚を目的として、文化振興に功績のあった個人及び団体を表彰する。	Ⅰ-２	各部署から対象者の推薦を受け、選定員会を経て、団体2団体、個人41名を表彰。 メイシアターレセプションホールにて表彰式を開催。	―	a	引き続き、庁内各部署から広く推薦をいただけるよう制度の周知に努める。
35	文化スポーツ推進室	Ⅱ-１(3)	ティーンズクラシックフェスティバル	若い才能の発掘による未来の人材の育成や、音楽を楽しむ場を共有することを目的としてクラシック音楽のコンクール等を行う。	Ⅰ-２ Ⅱ-２	応募者47組中15組が本選に出場しメイシアター大ホールにて演奏、観覧者数271人。 本選出場者のうち受賞者9組によるコンサートを実施し、発表の機会を提供。ブラスクリニックや少年少女合唱団を含むティーンズクラシックフェスティバル参加者及び入場者の合計は1,811人。	―	b	本選出場者に広く活躍の場を提供できるよう検討するとともに、さらに多くの人が参加・見学できるように、周知方法等を検討していく。
36	文化スポーツ推進室	Ⅱ-１(5)	アートマネージメントなどの人材育成	（公財）全国公立文化施設協会など関係機関との連携によるアートマネージメントなどの人材育成ができる環境づくりを推進。	－	令和７年度は、市職員・文化会館指定管理者の職員ともに、アートマネジメントなどの研修会には参加していないが、文化庁からの通知等により必要な情報収集を行っている。	―	b	今後も文化庁等からの通知等により情報収集を行うとともに、アートマネジメントなどの研修会に積極的に参加するなど、人材育成の環境づくりを推進していく。
37	学校教育室	Ⅱ-２(1)	文化・芸術行事に関する教育活動への支援	連合音楽会や教育美術展など、創作・成果発表、鑑賞のプロセスで、情緒や個性、道徳的な心を育てることを目的とした取組を支援。	Ⅲ-２	9/14～16に千里山コミュニティセンターにて吹田市子ども科学作品展（市内全小学校35校、中学校2校参加。作品数229点）を、11/6～7にメイシアターにて吹田市小学校連合音楽会（市内全小学校35校参加）を、1/23～27にメイシアターにて小学校吹田市美術展（市内幼稚園及び小学校参加）を、2/13にメイシアターにて児童文化部発表会（小学校8校参加）を、それぞれ開催した。1/17～1/21にメイシアターにて、中学校教育美術展を開催した。	どの取組も、参加児童生徒だけでなく保護者や地域の方も参加し、会場全体で文化・芸術に触れられることができた。	a	吹田市子ども科学作品展については、中学校の参加校が少ないため、今後とも中学校に対し本事業への参加呼びかけを推進する。 児童文化発表会は、運営委員会を通して各校へ呼びかけ、可能な限り規模を拡大していく。
38	学校教育室	Ⅱ-２(1)	中学校音楽祭など文化行事への支援	吹奏楽やギター・マンドリン等のクラブ活動の発表の場である音楽祭への支援を実施。	－	中学校音楽祭（ＳＪＭＦ）を３月２１日にメイシアターにて開催し、８校のクラブが参加した。	クラブ部員の生徒が日頃の活動の成果を発表することができた。	a	吹奏楽やギターマンドリン等のクラブ活動の発表の場として、貴重な機会となっており、今後も引き続き実施していく。
39	保育幼稚園室	Ⅱ-２(2)(3)	保育所、幼稚園等での文化行事	人との関わりや遊びを通して自発性や自主性を育むことを目的として、人形劇などの文化行事を実施。	Ⅲ-２	教育･保育の一貫として、29園中10園で人形劇鑑賞する機会を設けた。（3年に1回のローテーションで実施）	人形劇鑑賞後は満足感が高く、次回を楽しみにする声がある。	a	子供達の健やかな情緒を育むために、引き続き行っていきたい。
40	子育て政策室	Ⅱ-２(3)	幼児の文化・芸術活動を通じた心の成長に関する取組	幼児の頃から感情を育て、心の成長を促す取組として、多くの幼稚園や児童センター等で、人形劇やリトミックなどの文化・芸術活動に触れる機会を提供。	Ⅲ-２	幼児教室　全12館 実施回数：1,211回 参加者人数：9,811人	幼児教室を開催し、リズム遊びや絵本の読み聞かせなど、文化・芸術活動に触れる機会の提供を行った。	a	より多くの親子の参加を促す周知方法の検討や、参加親子が主体的に取組に関わり学ぶ機会とすることが必要。

No	担当室課	大綱施策	事業名	取組内容	その他関連 大綱施策	令和７年度実績 （取組内容の具体的な内容等）	令和７年度実績 （アンケート等での満足度）	※ 判定	取組内容に関する今後の課題・検討内容
41	青少年室	Ⅱ-２(3)	子供文化鑑賞事業	子供たちの豊かな情操を育むことを目的として、演劇等の鑑賞機会を提供。	Ⅲ-２	【子供劇場の実施】 「市民平和のつどい」の一環として、小学生以下とその保護者を対象にメイシアターで開催する演劇等の公演 公演2回　入場者数579人	回答者の94％がとても良い、良いと回答	b	子供が劇団による演劇を鑑賞することは貴重な機会であり、今後も飽きないように劇の作品選定にも力を入れていく。
42	子育て政策室	Ⅱ-２(3)	児童会館・児童センターの文化行事	子供に健全な遊びを提供し、健康増進を図るとともに、豊かな情操を育むことを目的として、児童会館・児童センターで文化行事を実施。	Ⅲ-２	年間、月間行事等　全12館 実施回数：8,711回 参加者人数：82,636人	正月あそびや節分、七夕などの伝統行事の開催や折り紙、囲碁、将棋、けん玉などのあそび体験を通して親子が文化に触れ親しむ取組を行った。	a	より多くの親子の参加を促す周知方法の検討や、参加親子が主体的に取組に関わり学ぶ機会とすることが必要。
43	青少年室	Ⅱ-2(4)	ヤングフェスティバル事業	青少年の自発性、社会性を養うことを目的として、ロック、ポップス、ヒップホップダンス等の発表をする機会を提供。	Ⅱ-1	【ヤングフェスティバルの実施】 メイシアターで開催するバンド・ダンスのイベント 20団体169名が出演 観客600人	回答者の85％以上が非常に満足しているまたはやや満足していると回答	a	近年は出演団体も増加傾向にあり、出演者アンケート調査の結果も良好のため、今後も募集方法や運営を工夫しながら出演団体の増加を目指す。
44	青少年室	Ⅱ-２(4)	吹田青少年さつき音楽祭事業（旧：吹田青少年野外コンサート）	交流を通じた青少年の育成を目的として、青少年が吹奏楽やコーラス等の音楽活動を野外で発表する機会を提供。	Ⅱ-1	【吹田青少年さつき音楽祭の実施】 メイシアターで開催する吹奏楽のイベント 19団体746名が出演 観客3,000人	回答があった出演団体の85％以上が非常に満足していると回答	a	出演団体は増加傾向にあり、昨年度は観客も増加していた。今後も多くの団体に参加してもらい、満足度の高い音楽祭を目指す。
45	シティプロモーション推進室	Ⅱ-３(1)	吹田だんじり祭り	吹田市指定有形民俗文化財のだんじりを曳行し、江戸時代に製作された勇姿と、文化財の価値を市民にお披露目する。だんじりを曳行することでだんじりばやしの練習と、だんじりへの飾りつけ等を引き継ぎ、伝統文化を伝承するとともに、にぎわいを創出し、地域の活性化に寄与するイベントとして開催。	Ⅱ-2 Ⅱ-3	６基（浜の堂、西奥町、川面町、六地蔵、神境町、都呂須）のだんじりが曳行。 約5,500人の見物があった。 また、より魅力的なイベント展開に向けて、周辺商店街イベントと連携して実施。 シティプロモーション促進補助金を交付。	約5500人の参加があった。だんじりの勇姿と文化財としての価値を市民にお披露目し、地域の活性化にも寄与。	a	より魅力的・安全な開催手法の検討や担い手の育成が必要。
46	文化スポーツ推進室	Ⅱ-３(1)(2)	吹田歴史文化まちづくりセンターの伝統文化行事	伝統的な日本家屋において、古くから伝わる季節の行事などを体験する機会を提供。	Ⅰ-２	伝統文化に触れ親しみ、伝統的な風習や行事を体験する事業を11事業18回実施した。	事業アンケートでは、伝統的な風習や行事に触れるきっかけとなったとの声が多い。	a	今後も伝統的な風習や行事などを体験する機会を提供していく。
47	文化スポーツ推進室	Ⅱ-３(1)(2)(3)	子供や親子の伝統文化体験	茶道、華道、和装、礼法などの伝統文化を子供や親子が体験する機会を提供。	Ⅰ-２	自由に各ブースをまわって体験できる形で実施。 茶道、華道、将棋など、7ジャンルで実施。 参加者総数600人	参加者アンケートでは伝統文化を知るきっかけとなったり、興味部会内容だったとの意見が多かった。	a	大きな混乱はなかったが、特定のブースに来場者が偏らないように周知・案内する必要がある。また、周知に係る事務量が膨大であるため、効率的に実施できる方法を検討する必要がある。
48	文化財保護課	Ⅱ-３(4)	旧西尾家住宅、旧中西家住宅の保存と活用	重要文化財の旧西尾家住宅や吹田市指定有形文化財の旧中西家住宅の歴史的な価値の高い建築物を保存し、市民への見学の機会を提供するなど活用を図る。	Ⅲ-3	【旧西尾家住宅】 ・令和４年度から実施している保存修理工事（Ⅰ期工事）を引き続き実施した。 ・普段非公開としている修理工事現場の見学会を実施した。参加者数は３日間延べ111人。 ・工事中のため公開範囲を制限しながら、週３日（水・土・日）、一般公開を行った。 ・来館者数254人（修理工事現場見学会参加者含む） 【旧中西家住宅】 ・週６日、一般公開を行った。（水・土・日は建物・庭園、火・木・金は庭園のみ） ・春と秋に、特別公開を実施した。 ・来館者数883人	―	a	・旧西尾家住宅の保存修理工事においては、資材や人件費の高騰等による工事費の増大が課題となっていることから、文化庁とも協議を行い、工事内容の精査を行いながら工事を進めていくとともに、防災設備や活用に係る整備を進めていく。また、修理後の公開活用のあり方について、更に具体的な検討を進める。 ・旧中西家住宅については、保存と更なる活用の推進のため、検討を進めていく必要がある。

No	担当室課	大綱施策	事業名	取組内容	その他関連大綱施策	令和７年度実績（取組内容の具体的な内容等）	令和７年度実績（アンケート等での満足度）	※判定	取組内容に関する今後の課題・検討内容
49	文化財保護課	Ⅱ-３(4)	文化財の収集と保存、調査研究	有形文化財等、市内に所在する文化財の現況や実態を調査し、学術的な評価や価値を把握するとともに、文化財の活用を検討し、次世代に継承する。	－	・開発等に伴い、文化財がその歴史性や学術的評価が行われないまま滅失することを避けるため、埋蔵文化財の本発掘調査を５件、試掘・確認調査等を28件、有形文化財（建造物）の調査を１件実施 ・遺跡、検出遺構や遺物などを良好な状態で保存するため管理を行うとともに、一般に公開（常時見学可）４か所 ・市指定・登録を受けた文化財の所有者又は保持若しくは保存を目的とする団体に対し、補助金を交付　８団体 ・文化財保護審議会を開催し、指定文化財の現況を報告 ・文化財の啓発のための刊行物発行２件、説明板の修繕１件 ・博物館の新規収集資料 708点	―	a	特に発掘調査を担える人材の確保と育成が課題となっている。貴重な文化財の保存・活用を適切に行っていくため、人材の確保に努めるとともに、積極的にデジタル技術を活用するなど、調査等の手法や内容についての検討も併せて行っていく。
50	文化財保護課	Ⅲ-１(1)	博物館事業への市民参画	市民が集い、多様な体験をいかしながら博物館活動へ主体的に参加できることを目的とし、ボランティアをはじめとする博物館サポーターにより、学校教育や地域住民等との連携を深め市民生活を豊かで潤いのあるものにする。	－	・特別企画「むかしのくらしと学校」展や関連イベントにおいてボランティアによる市民参加があった。活動日数はのべ49日、参加者総数はのべ312人。 ・令和7年度夏季展示において公募市民による「すいはく自然発見隊」が企画・展示準備等を行った。活動日数はのべ57日、参加人数はのべ279人。	「むかしのくらしと学校」展を団体見学した小学校教員へのアンケートでは、体験型展示が充実していて子供たちの学習効果が大きかったとする記述が多かった。	a	ボランティアの高齢化が進むとともに参加者が減少傾向にある。参加者数増加へ工夫をするとともに、博物館事業への市民参画のあり方も検討していく。
51	まなびの支援課	Ⅲ-１(1)	生涯学習事業	現代課題に応じた講座を実施し、地域における課題の解決に関する気づきの機会を市民に提供。	Ⅲ-３	子育て教室　2回　46人	受講者からは参考になったという声が多かった。	b	幅広い市民に学習の機会を提供するため、複数の地区で実施する。
52	まなびの支援課	Ⅲ-１ (1)(2)(3)(4)	公民館運営事業	仲間づくりや交流につながるような、共に楽しめる講座や文化教室などの実施や、地域住民の自発的な学びの機会と身近な学習の場を提供。また、日頃の公民館活動の成果を発表する文化祭を開催。	Ⅰ-２	公民館講座　1,822件　43,152人 地区公民館文化祭　26館で実施	公民館講座の受講者数は、前年度と比較して増加し続けている。	a	引き続き市民が身近な学びの場を提供することで自主的な学びを支援する。
53	市民自治推進室	Ⅲ-１ (1)(2)(3)(4)	コミュニティ施設の取組	施設を利用した文化・芸術活動等を通じて、地域に仲間ができ、コミュニティの活性化に寄与。また、ロビー等共有スペースを活用したコンサートや作品展示など、楽しめる催しを実施し、市民相互の交流機会を提供。	Ⅰ-２	市民センター等のコミュニティ施設は、市民の集会等の用に供し、市民相互の交流並びに市民の文化及び福祉の向上を図る場として、年間65万人を超える利用があった。 また、自主事業により年間約2,000件の講座や作品展示等が行われ、市民の交流の機会を提供した。	利用者満足度は「満足」「やや満足」の回答が半数以上となっている。一方で、ハード面に関する意見が散見された。	a	自主事業の実施件数について、好評であった自主事業については継続して実施するとともに、利用者のニーズに応じた講座を増やすことで実施件数の増加に繋げる。 　利用者満足度について、ソフト面に関しては利用者アンケートを踏まえた施設運用を進め、ハード面に関しては施設の計画的な維持補修及び施設設備の計画更新を行う。
54	地域経済振興室	Ⅲ-１(3)	吹田産業フェア	地元産業を紹介し、市民生活との関りについて認識を深め、市内産業の振興につなげる吹田市産業フェアにおいて、文化的要素を取り入れたイベントを実施。	Ⅰ-３	令和7年5月24日（土）、25日（日）に吹田市文化会館メイシアター及びいずみの園公園で第40回吹田産業フェアを実施。文化的要素を取り入れたイベントとして、市内団体がジュニアオーケストラや吟剣詩舞等を披露する「吹田市民と共に文化の祭典」や、吹田の文化や歴史を楽しく伝える「すいたオリジナル紙芝居」等を行った。	イベントの実施を通じて、市内コミュニティ間の相互の関係性が深まった。また、来場者がイベントを通じて多彩な吹田の文化に触れることで、文化振興につなげることができた。	a	今後も同様の規模での開催を目指し、吹田産業フェアの主旨に則して可能な範囲で文化的要素を取り入れたイベントを実施する。
55	文化スポーツ推進室	Ⅲ-１(3)	吹田歴史文化まちづくりセンター（浜屋敷）の地域イベント	地域の歴史と文化を学ぶ講座やイベントなどの機会を提供。	Ⅲ-３	市の事業委託による端午の節句やひなまつり等の季節行事や、事業補助金によるジャンボ将棋大会等の地域交流事業等を35事業、63回実施した。	―	a	今後も地域に息づく歴史及び文化を保存し、発展させるための事業として地域の歴史と文化を学ぶ講座やイベントなどの機会の提供について、支援する。
56	危機管理室	Ⅲ-１(5)	安心安全都市づくり市民会議	市民、事業者と一体となって安心安全のまちづくりを推進する活動を喚起する安心安全都市づくり市民会議の中でのコンサートなどイベントの実施。	－	令和７年度以降は文化に係る活動の見込なし	―		
57	総務予防室	Ⅲ-１(5)	消防音楽隊	演奏活動を通じて、市民に対して火災予防等を啓発。	－	令和7年度は8回演奏を実施し、行事参加人員として2,040人。	来場していただいた方から感謝や喜びの声が寄せられている。	c	令和７年度の演奏に関して全ての演奏が依頼を受けての演奏だったため、自主的な演奏活動が実施できなかった。これを受け、抜本的な見直しを行う。

No	担当室課	大綱施策	事業名	取組内容	その他関連 大綱施策	令和７年度実績 （取組内容の具体的な内容等）	令和７年度実績 （アンケート等での満足度）	※ 判定	取組内容に関する今後の課題・検討内容
58	文化スポーツ推進室	Ⅲ-２(1)	多文化共生の推進	外国に文化的ルーツを持つ人等が地域で生活していく上での支援や、相互理解のための交流機会づくりを支援。	Ⅰ-１	（公財）吹田市国際交流協会への委託により、吹田市多文化共生ワンストップ相談センターの運営（延べ相談人数928人）、日本語教室事業の実施（延べ受講者数5,605人）、行政通訳同行業務（派遣件数195人）等を実施した。	―	a	外国人市民の増加や多国籍化に伴い、相談内容が多様化・複雑化している。「吹田市多文化共生推進アクションプラン」に基づき、庁内の関係部署や外部機関と連携して多文化共生に係る取組を引き続き進めていく。
59	障がい福祉室	Ⅲ-２(1)(3)	障がい者週間の催し	市民の障がいへの理解を深めることを目的として、障がい者作業所の作品展示、活動の場の紹介やシンポジウムを実施。	Ⅰ-１	活動の場の紹介として、障がい作業所の作品を市役所正面玄関ロビーやメイシアターにて展示し、障がい作業所によるパフォーマンスの動画を市公式ウェブサイトにて配信。また、吹田市障がい者週間記念事業「すいたCOCOROフェス」において、メンタルヘルスの基礎や人の悩みを聴くスキルを学ぶための「こころサポーター養成講座」を実施し、加えて障がいの有無に関わらず誰もが楽しめる「ゆるスポーツ」を実施。	アンケート回答者236人のうち、１番多い回答が満足：102人、次に大変満足：83人となり、約78％の参加者が満足と回答した。	a	障がい当事者や関係者だけではなく、幅広い分野の方々に対して障がいについての関心や理解を広げるため、今後も効果的かつ効率的な啓発活動を行う必要がある。
60	文化スポーツ推進室	Ⅲ-2(2)	市民劇場 （育成型事業）	障がい者などが、舞台公演に出演する機会を提供	－	メイシアター開館40周年記念事業として、障がいのある市民12人と障がいのない20人がプロのダンサーと共演するダンス作品を上演。入場者数181人	―	a	障がい者の方だけによる事業というだけではなく、公募等により障がい者のある方にも参加しやすい環境、機会の提供を検討していく。また、観客としても参加しやすいイベントを検討していく。
61	学校教育室	Ⅲ-２(4)	子どもたちの人権芸術展	人権意識を育む機会として、演劇、合唱、合奏などを通じ人権や平和の大切さを発信する子どもたちの人権芸術展を開催。	Ⅱ-２	12/5にメイシアター中ホールにて吹田市人権教育研究協議会と共催で開催した第38回子どもたちの人権芸術展に、市内の幼稚園1園、小学校4校が参加した。また、展示の部において中学校１校が作品を展示した。人権意識を育む機会として、音楽、演劇、ダンスを通じ人権や平和の大切さを発信した。	多数の保護者や地域の方が来場し、会場全体で人権の大切さについて共有できる場となっていた。	a	幼稚園、小学校、中学校が参加し、それぞれの成長段階に応じた内容の発表会となっている。子供たちだけでなく、市民や地域も含めて人権問題を考えるうえで大変貴重な機会となっており、今後も継続を検討している。
62	学校教育室	Ⅲ-２(4)	じんけん作品展	じんけん作品の募集を通して、子供たち一人ひとりが「人権」について主体的に考える機会を設け、作品展や作品集の作成・配布を通して、広く市民に向けて人権啓発を実施。	Ⅱ-２	12/5～12/11の期間、メイシアター展示室で実施した。じんけん作品展には、小中学校合わせて26校、1,434点の作品の応募があり、大人から子供まで、計649名が来場した。また、応募作品を活用して「2026人権カレンダー」や「じんけん作品集第40集」を作成し、市内の幼稚園、こども園、保育園、小中学校、公共施設に配布し、広く発信した。	じんけん作品展に関して、ほぼ全員が肯定的な意見を持っている。	a	人権週間に合わせて開催していることで、広く学校や市民へ周知することができ、来場者も昨年度と同様の来場者数となっている。一方で、応募のあった学校が小中学校あわせて53校中26校で、昨年度よりも減少しているため、じんけん作品展の良さを伝えるなどして、周知方法を工夫していくことが必要であると考えている。
63	人権政策室ほか	Ⅲ-２(4)	市民平和のつどい	平和意識の高揚を図るため、非核平和資料展、コンサート、映画会など文化・芸術を通じた啓発の取組を実施。	－	【市民平和のつどい】 「落語を楽しむ夕べ～古典芸能が伝える平和へのメッセージ～」 入場者数　409人 【非核平和資料展＆占領下の大阪・関西写真展】 毎日新聞大阪本社編、写真図説「占領下の大阪・関西」から厳選した写真・戦時中の実物資料の展示 入場者数　627人	「落語を楽しむ夕べ～古典芸能が伝える平和へのメッセージ～」 回答件数224件、回収率54.8％ とてもよかった、よかったの割合95.7％ 「非核平和資料展＆占領下の大阪・関西写真展」 回答件数95件　回収率15.2％ とてもよかった、よかったの割合93.7％	a	戦後80年の節目の年として、著名な落語家による公演や占領下の大阪や関西の様子をリアルに感じることのできる写真展の実施により、参加者が大幅に増加したが、若年層の参加が伸び悩んでいることから、若年層にも関心を持ってもらえるよう内容を検討する必要がある。
64	シティプロモーション推進室	Ⅲ-2（4）	万博を契機とした国際交流事業	関西・大阪万博参加国との国際交流を進める「万博国際交流プログラム」として、スイス連邦を相手国とした、ライフサイエンス分野の交流や文化交流を実施	Ⅰ-1 Ⅲ-3	スイスが永世中立国であることから、平和とは何か考えるシンポジウムをスイス大使館公使等を招き開催。また、小学生向けにスイス大使館よりスイスに関する授業、キッズジャズバンドの来日コンサートも実施。	様々な形で交流していたことで、老若男女問わず好印象であった。	a	大阪。関西万博が閉幕したことで交流が終結することの無いよう今後も継続的に取組を検討。
65	環境政策室	Ⅲ-２(4)	環境啓発事業	環境に配慮したライフスタイルの確立や、より良い環境づくりに向けて環境教育、学習の場としてイベントを実施。持続可能な社会の実現を目指す価値観の醸成を図る。	Ⅲ-３	市内の環境団体や事業者と協力し、「すいた環境教育フェスタ2025」を実施した。環境保全活動等を実施する市民団体や企業、大学など19団体が環境に関する展示や体験型のブースを出展し、来場者数は425名であった。	初めての参加が回答者の半分を占めながら、「次回も来たいと思うか」の質問に対しては「はい」が100％であった。	a	今年度も引き続き実施し、来場者の増加に向けた効果的な啓発方法やブース内容の充実を検討する。
66	文化スポーツ推進室	Ⅲ-3(1)	市民劇場 （育成型事業）	吹田市ゆかりのアーティストによる演奏の場の提供。	－	吹田のアーティスト応援事業は令和4年度からの新規事業であるミュージックストリートシリーズに令和5年度から 統合	―	―	

No	担当室課	大綱施策	事業名	取組内容	その他関連大綱施策	令和７年度実績 （取組内容の具体的な内容等）	令和７年度実績 （アンケート等での満足度）	※ 判定	取組内容に関する今後の課題・検討内容
67	地域経済振興室	Ⅲ-３(2)	農業振興事業	市民農園の開設支援や、水稲やさつまいも等の作付から収穫までを体験する事業を実施。児童の田植え、稲刈り体験による農業への理解と食育の啓発活動を推進。	－	市民農園については、新規開設者はいなかったが、継続して開設し続けてもらうための利用者のあっせんや利用者説明会等の支援を行った。 農作業体験事業「ふれ愛農園」は、全7回､20家族75人が参加、延参加人数は321人。 学童農園は田植えと稲刈りを体験。主に小学５年生対象に19校で実施。延参加人数は3,858人。 地産地消の取組として、産業フェアをはじめ、朝市等の農産物直売を延14回開催。	市民農園事業については、開設者の農地管理としての役割を担っていた。また利用者については、農作業を楽しみながら行ってもらうことができた。 農作業体験事業、学童農園事業については、参加者の農業への理解が深まり、食育にもつながった。 地産地消の取組については、農業者と消費者を繋ぐ場となり、両者にとって有意義な取組となった。	a	今後についても、市民農園や農作業の体験等を通して“農”への理解と地産地消についての啓発活動を推進する。
68	文化スポーツ推進室	Ⅲ-３(2)	ホームタウン推進事業	吹田市に本拠地を置くガンバ大阪を市が率先して応援。また、ガンバ大阪を応援する団体との連携を深め、スポーツ文化の振興や地域の活性化を図る。	－	市民ふれあい事業（参加者のべ2,496人）、キッズフォローアップ事業（参加者のべ3,152人）、スタジアムピッチ体験事業（参加者のべ1,277人）、スタジアムフェスタ（参加者約4,495人）、ガンバ大阪選手着用ユニフォームパンツ前面「SUITA CITY」掲出等を実施した。 また、ガンバ大阪を応援する団体が実施したパブリックビューイング等に補助金を交付した。	―	a	今後も引き続き、本市の魅力であるガンバ大阪を市民に身近に感じてもらい、「ガンバ大阪のあるまち」としてのホームタウン意識やふるさと意識の醸成を図れるような事業を実施予定。
69	地域経済振興室	Ⅲ-３(2)	市内商工業団体等への支援	市内商工業団体等による地域との交流や活性化のためのイベント等に対し、補助金交付による支援を実施。	－	【商工業団体事業活動促進補助金交付】 催物事業　13件 【商店街等魅力向上促進事業補助金交付】 催物事業　7件	イベントの実施を通じて、市内コミュニティ間の相互の関係性が深まり、イベント開催をきっかけに通常の客層の方以外にも来場いただいたことで、商工業団体内の活性化につながった。	a	今後についても、引き続き地域活性化・商業活性化に資するイベントを各団体が実施できるよう、補助金内容の見直しなどを検討し、支援を進めていく。
70	文化スポーツ推進室	Ⅲ-３(2)	イルミネーション事業	公共施設等を利用したイルミネーションを実施。	Ⅰ-１ Ⅰ-２	吹田市文化会館（メイシアター）の大階段植え込みや外壁を利用してイルミネーション点灯を実施。 点灯期間：令和7年11月1日から令和8年3月31日まで	―	a	景観形成に向けた啓発も含め、地域の活性化や魅力発信のために吹田市文化会館（メイシアター）でのイルミネーション点灯については今後も実施予定。
71	都市計画室	Ⅲ-３(3)	景観まちづくりの推進	次代に誇れる快適な都市景観を創造することを目的として、地域らしさと潤いのある景観のまちづくりに関する取組を推進。	－	・吹田市景観公式Instagramでの発信 ・吹田の景観展、屋外広告物パネル展の開催 ・吹田のいいでしょこのまち作品展の開催 ・吹田市公共サインデザインガイドラインの活用に向けた周知啓発	―	a	令和5年度から運用を開始した吹田市公共サインデザインガイドラインは、公共サインの安全性向上や良好な景観形成が図られることを目的としており、今後も課題解決のために継続的な取組が必要である。
72	シティプロモーション推進室	Ⅲ-３(4)	BUP（バナー・アップ・プロジェクト）	吹田の四季折々の魅力を感じられる４本のバナー（懸垂幕）を市庁舎に掲げることで、来庁者に市の魅力を感じてもらう取組。	Ⅰ-２	令和５年6月の本庁舎工事に伴い取り外し、それ以降は不実施。	―	c	懸垂幕を掲げるところが2本だけになり、また新しくできた建物で見えづらくなる。今後、続けていくかを検討。
73	公園みどり室	Ⅲ-３(3)(4)	樹木等保護	規則で定める基準に該当する樹木または樹林のうち、歴史や文化を感じさせるような古木等の、特に保護する必要があると認めるものを保護樹木または保護樹林として指定する。	Ⅱ-３	令和７年度新規登録０本。 吹田市樹木等保護制度の利用０件。	―	b	周知方法等を含め制度の利用促進を図る。

No	担当室課	大綱施策	事業名	取組内容	その他関連 大綱施策	令和７年度実績 （取組内容の具体的な内容等）	令和７年度実績 （アンケート等での満足度）	※ 判定	取組内容に関する今後の課題・検討内容
74	計画調整室	Ⅲ-３(4)	千里ニュータウンのまちづくり推進	千里ニュータウン情報館において、千里ニュータウンのまちづくりの歴史及び住民の生活文化を展示し、地域情報を発信することで、住民相互の連携によるまちづくりを推進する。	Ⅱ-３	前年に引き続き、2025関西万博を契機とした企画展として、①「千里ニュータウンとEXPO'70～懐かしくて新しい万博の記憶～」と②「千里ニュータウンとEXPO'70ーデザインで辿る万博物語ー」をテーマと開催期間を二つ分けて実施した。 令和７年度は2025関西万博が開催中であり、タイムリーな万博関連の企画展を、前年度に引き続いて複数回実施することで、2025関西万博との相乗効果を図った。 ①「千里ニュータウンとEXPO'70～懐かしくて新しい万博の記憶～」 開催日数；52日、来館者数；延べ11,321人 ②「千里ニュータウンとEXPO'70ーデザインで辿る万博物語ー」 開催日数；52日、来館者数；延べ8,539人	―	a	今後とも、千里ニュータウン情報館への入館者の増加に努める取組みの充実を図るとともに、ポータルサイトを活用した情報発信を行うことで、千里ニュータウンへの関心を持つ地域住民等の交流や連携を促進するコミュニティの形成を図る。
75	公園みどり室	Ⅲ-３(4)	公園等自主管理支援制度（旧：緑あふれる未来サポーター）	市民と協働で公園及び緑地の除草・清掃、花壇管理・水やり、竹林管理などの環境保持、景観の維持を行い、にぎわいのある公園及び遊園づくりを進める。	－	223団体が活動。令和７年度新規登録９団体、廃止13団体。	―	b	活動団体数の向上のために、周知方法等を含め制度の利用促進を図る。